

2010年4月14日

## 中国・北京地下鉄向けにエスカレータ264台を大量受注！

フジテック株式会社（本社：滋賀県彦根市 社長：内山高一）の中国でのグローバル法人「華昇富士達電梯有限公司」（本社：河北省廊坊市 総経理：津山圭二、以下：華昇フジテック）と「上海華昇富士達扶梯有限公司」（本社：上海市 総経理：河野俊一郎、以下：上海華昇フジテック）はこのほど、中国北京市内で大規模な建設工事が進んでいる地下鉄向けにエスカレータ264台を受注しました。先に受注し既に納入している108台と合わせ、計372台が47駅に設置されることとなります。

エスカレータの生産は、上海華昇フジテックがすべて行います。

先行し納入された108台は北京西部の南北を結ぶ4号線の全24駅向けで、既に昨年9月に開通しています。このほど、新たに10号線延伸工事の23駅向け264台を受注しました。2013年9月の全面開通を目指して、順次、エスカレータが設置されます。

中国の政治・経済の中心地、北京では現在、多くの交通インフラをはじめとした大規模な都市化工事が急ピッチで進められており、フジテックでは更なる受注を目指しています。

### 地下鉄4号線、10号線について

昨年9月に開通した地下鉄4号線は、北京南北を結ぶ全長28.2kmの路線で、アジア最大の鉄道駅となる「北京南（ベイジンナン）駅」、IT産業の中心地である「中関村（ジュングアンツン）駅」、観光の名所である「頤和園（イーホーユエン）駅」など全24駅。華昇フジテックは、この全24駅でエスカレータ計108台を納入しました。



地下鉄4号線

さらに、2008年に北京で開催された夏季オリンピックに合わせ整備された地下鉄10号線では、既に第一期工事に当たる全長24.7km、22駅が開通しており、今年1月末から全面開通を目指し、第二期工事がスタートしました。

2010年4月14日

「勁松(ジンソン)駅」を起点に「巴溝(バーゴウ)駅」を終点とし、全長32.5km、23駅が新たに設けられ、完成時には既に開通している第一期工事部分とつながり、北京市内を大きく円弧を描く環状線が誕生します。華昇フジテックは、この全23駅でエスカレータ計264台を受注しました。

### 中国での生産体制に関して

「華昇フジテック」は、1995年12月、中国中紡集团公司との合弁会社として、北京近郊の河北省に設立。中国のエレベータ生産拠点として年々シェア拡大を図っています。

2001年12月、エスカレータの生産拠点として、上海に「上海華昇フジテック」を設立しました。2007年には上海市松江工業区内の15万m<sup>2</sup>の敷地内に「上海華昇フジテック」を移転。研究開発拠点「上海RDセンター」と機器製造・調達拠点「上海調達センター」を集約しました。

今後も、中国国内はもとより、世界市場に向けて、高性能・高品質なエレベータ、エスカレータを供給していきます。



「華昇フジテック」

左から「上海RDセンター」「上海調達センター」  
「上海華昇フジテック」

本件のお問い合わせ先：フジテック株式会社

広報室 東京本社 TEL: 03-4330-8233 FAX: 03-4330-8220

ビッグウイング TEL: 0749-30-6502 FAX: 0749-30-7055

[www.fujitec.co.jp](http://www.fujitec.co.jp)

以上